

令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽I

教科：芸術 科目：音楽I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：依藤

使用教科書：（MOUSA1（教育芸術社））

教科 芸術 の目標：

【知識・技能】音楽の基礎的・基本的な知識技能を身に付け、演奏活動に取り組む。

【思考力・判断力・表現力】曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏する。

【主体的に学習に取り組む態度】曲の成立背景や構成などに興味をもち、自らより良い演奏を追求する。

科目 音楽I の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①音楽の基礎的・基本的な知識技能を身に付け、演奏活動に取り組む。 ②ト音譜表やヘ音譜表について理解して、読譜する。	①曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏する。 ②良い演奏を追求し、発声や体の使い方を工夫して演奏する。	①曲の成立背景や構成などに興味をもち、主体的に学習に取り組む。 ②周りの人と協力しながら演奏活動に意欲的に取り組む。

	単元	表現			鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
		歌	器	創						
1 学期	ギター演奏		○			○クラシックギターについて興味をもち、アポヤンド奏法を身に付ける。 ○「きらきら星」などの容易な曲を演奏する。 ○「第三の男のテーマ」の主旋律を演奏する。 ○ギターの弦を押さえることに慣れ、綺麗な音色で演奏する。		○	○	10
	鑑賞				○	○楽曲の構成に気づかせ、音楽の形式を学ぶ。 ○作曲家について学ぶ。			○	4
	楽典			○	○	○音符の長さを理解し、楽譜を見て正しいリズムを打つことができる。 ○拍子記号について理解し、3拍子や4拍子の違いを知覚・感受することができる。	○			4
	歌唱	○				○基礎的な呼吸法・発声法を理解する。 ○「校歌」の歌詞を覚えて歌う。 ○「負けないで」「少年時代」の旋律を理解して歌う。			○	14
2 学期	歌唱		○			○基礎的な呼吸法・発声法を理解する。 ○合唱曲に取り組み、パートごとに音取りをする。 ○合唱曲をパートごとに練習し、それぞれのパートのリズム・音程を理解する。 ○指揮や伴奏と合わせて歌うことができる。 ○曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。		○		8
	ピアノ演奏			○		○グループで合わせて練習し、発表会を行う。 ○自己のグループの演奏を振り返り、他のグループの感想をまとめる。			○	10
	ハンドベル演奏			○		○姿勢や指使いを学習する。 ○簡単な旋律を演奏する。 ○グループで合わせて演奏する。	○			8
3 学期	ギター演奏		○			○「カントリー・ロード」で使用するコードを覚えて演奏する。 ○ストロークをアレンジさせて弾き語りをする。			○	8
	鑑賞				○	○ミュージカル作品を鑑賞し、ミュージカルの成り立ちを知る。 ○英語の曲の特徴を捉え、発音を意識して歌う。	○			4

令和6年度（1学年用）

教科 芸術

科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：関谷 美保子

使用教科書：（ 高校生の美術 1（日本文教出版） ）

教科 芸術

の目標：

【知識・技能】美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。

【思考力・判断力・表現力】 画材にふさわしい表現で作品をつくる。自ら思考・判断・表現することを目指す。

【主体的に学習に取り組む態度】 基礎的な課題に興味をもち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。

科目 美術 I

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。 ②画材や道具の特性を理解し、作品制作に生かす。	①画材にふさわしい表現で作品をつくる。 ②自ら思考・判断・表現する。	①基礎的な課題に興味をもち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。 ②工夫を凝らし、自分の表現を追求する。

	単元	表現			鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
1 学 期	幾何形体のデッサン	○	○		○	○幾何形体で形の取り方、影の付け方を学ぶ。	○	○	○	10
	鉛筆の使い方 手のデッサン	○	○		○	○鉛筆を立てた描き方、寝かせた描き方を学ぶ。 ○自分の手をよく観察して描く。光の方向を意識して明暗を表現する。	○	○	○	14
2 学 期	不透明水彩	○	○			○ポスターカラーの使い方を学ぶ ○平塗り ○マスキング ○スパッタリング ○12色相環 ○混色	○	○	○	16
	模写	○	○		○	○透明水彩または不透明水彩で模写	○	○	○	14
3 学 期	模写	○	○		○	○透明水彩または不透明水彩で模写		○	○	16

令和6年度（1学年用）

教科 芸術

科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 6 組

教科担当者：大橋

使用教科書：（書 I（光村図書出版））

教科 芸術

の目標：

【知識・技能】日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。

【思考力・判断力・表現力】古典の価値について考え、書のおよさを味わう。

【主体的に学習に取り組む態度】書の変遷や背景にある歴史や文化に関心をもち、表現においても意欲的に取り組む。

科目 書道 I

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。 ②各書体特有の字形や線質について理解する。	①古典の価値について考え、書のおよさを味わう。 ②味わった美しさ感性を豊かにし、作品の表現の違いを判断する。 ③鑑賞の学習に取り組み、表現できるように努力する。	書の変遷や背景にある歴史や文化に関心をもち、表現において意欲的に取り組む。

	単元	表現			指導項目・内容	知	思	主	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮					
1 学 期	書について ・楷書 「孔子廟堂碑」		○	○	・書写から書道へ。 ・用具・用材・書の表現。 ・漢字の書体の変遷。 ・書風・特徴を捉える。 ・さまざまな古筆を見て、楷書にも用筆、字形の違いがあることを知る。 ・拓本について理解する。 ・慮世南について知る。	○		○	2
	「九成宮醜泉銘」		○	○	・欧陽詢について知る。 ・「楷書の極則」とたたえられる背勢を理解する。 ・用筆、字形を理解する。	○	○		4
	「雁塔聖教序」		○	○	・褚遂良について知る。 ・抑揚を活かした用筆を理解する。 ・初唐の三大大家を知る。	○			2
	「顔氏家廟碑」		○	○	・顔真卿について知る。 ・重厚な運筆や向勢の字形を理解する。 ・「蚕頭燕尾」と呼ばれる用筆を理解する。 ・初唐の四大家を知る。	○	○		2
	「牛橛造像記」		○	○	・北魏の楷書について理解する。 ・力強い運筆や方形を知る。 ・「鄭義下碑」と比較する。 ・重厚な運筆や向勢の字形を理解する。 ・「蚕頭燕尾」と呼ばれる用筆を理解する。 ・初唐の四大家を知る。	○			2
	「鄭義下碑」		○	○	・ゆったりとした構えの字形を理解する。 ・点画に丸みを持たせた円勢を理解する。 ・筆力は強くあることを理解する。			○	4
	「隅寺心経」		○	○	・写経について知る。 ・空海について知る。 ・1行17字を収め写経体とし、整然とした美しさを追求する。	○			4
2 学 期	・行書 「蘭亭序」		○	○	・行書の特徴を理解する。 ・筆者について知る。 ・全体を鑑賞し、思いと筆使いを理解する。 ・感情が書に表れていることを知る。 ・大筆、小筆でも書き、どちらもよく特色が出るように表現する。	○	○		6
	「温泉銘」		○	○	・筆者太宗について知る。 ・文字の大小、線の太細、書風を理解する。	○		○	2

「争座位文稿」				○	○	・三文稿の比較をする。 ・文字の大小、太細、抑揚の変化を理解する。	○		○	2	
「蜀素帖」				○	○	・筆者米芾について知る。 ・やや左に傾けた字形、強弱をつけた筆圧が書けるようにする。 ・宋の四大家を知る。	○			2	
「風信帖」				○	○	・空海は二王をベースに書かれていることを知る。 ・平安時代の書道史の概要を知る。			○	○	2
真草千字文				○	○	・詩の情景を楽しむ。 ・正方形に近い字形で、滑らかな運筆に近づけるようにする。			○		2
隸書 〔曹全碑〕				○	○	・隸書の基本点画、収筆、波磔、が書けるようになる。 ・伸びやかな波磔が理解できる。	○				2
篆書 〔泰山刻石〕				○	○	・均整のとれた威厳のある篆書を理解する。 ・篆書の用筆、運筆を知る。	○				2
・仮名 仮名の基本 いろは					○	・仮名はどのように書かれてきたかを理解する。 ・古筆を鑑賞する。 ・仮名の基本線を理解する。	○				2
・変体仮名					○	・変体仮名について理解する。 ・表現の変化や調和の効果をもたらす役割を知る。			○		2
・連綿 「蓬来切」				○	○	○	○				4
「高野切第三種」				○	○	○	○				4
「関戸本古今和歌集」				○	○	○	○				4
「元永本古今和歌集」				○	○				○		4

下期	・散らし書き 「寸松庵色紙」	○	○	○	○	・散らし書きの表現方法、構成美を理解する。 ・単体と連綿の組み合わせによるリズムを理解する。	○	2
	「升色紙」	○	○	○	○	・ゆったりとした連綿、行と行を絡めた構成が書けるようになる。	○	2
	・創作	○	○	○	○	・仮名の創作をする。 ・歌を決め、文字を集字し構成する。 ・構成を生かし、下書きし練習し、仕上げる。	○	6